

各位

一般社団法人 愛知県溶接協会

溶接に関わる業務に従事されている方々へ（趣意書）

溶接技術は、わが国の産業基盤をなし、また、国際的な産業競争力を保つうえで重要な要素であることは過去から現在、そして未来にわたるまで変わることはないと思われます。わが国の産業構造は、全企業数の約 99.7%を中小企業が占め、国内雇用の 7 割を占めています。中小企業が持つ多種多様な技術と迅速に試作品を提供できる機能は、競争力のあるユニークな製品を生み出す源泉であり、これと大企業がもつ組織的で高度な生産力とが、わが国の産業基盤の特徴です。このなかで溶接技術は、金属製品を支えています。

一方、近年、企業は、働き手の不足や働き方の改革など、これまでと異なる労働環境への対応を迫られています。大量生産を行う業態においては、自動化・省力化が有効な手立てとなります。多品種・少量生産を担う中小企業においては、費用対効果の面からも、現状の自動化技術だけでは、問題の解決にいたらないことも少なくありません。溶接における多品種・少量生産は、人手による溶接が多く、技能を有することが必要です。しかし、中小企業にとっては、働き手の不足と溶接技能を伝える人材の不足、高齢化が課題となっています。先に述べたような中小企業の機能は、技能を有する人材が支えているとも考えられ、これらの方々の減少は、産業競争力の低下を招くとも予想されます。働き手の不足は、労働環境とも関連し、今後は、次世代を担う人材に中小企業がより魅力ある職場として認知される必要がありますが、溶接は、他業種に比べると若年労働者を確保するのが難しいのが現状です。

溶接業界の現状をとりまくこのような諸課題に対して、当協会は、少しでも皆様のお役に立てるような業務・サービスを展開したいと願っています。そこで、溶接技能を映像や数値などのデータとして取得・活用すること、そのための方法や装置の研究開発を進めています。技能をデータにすることは、評価しやすい、伝えやすいなど技能習得の効率を上げるだけでなく、個人の特性にあった技能教育や新しい技法を生み出すことにもつながります。また、これらのデータは、自動化のための参考資料や溶接品質を担保することにも活用でき、幅広く企業の方々のお役に立てるものと思います。

今回は、愛知県が企画した「あいちロボット産業クラスター推進協議会プロジェクトチーム活動支援」事業の協力を得て、皆様にアンケートをお願いすることになりました。ささいなことでもかまいません。皆様のご意見、お考えをお聞かせ願います。

最後に今後とも引き続き、当協会の活動に対してご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

以上